

こころがあそぶ、劇場。

舞台となるのは、約400名が入れる劇場。どの席からも舞台が近く、あたたかい雰囲気が自慢です。
 ここで、4つの「る」をキーワードに、さまざまなプログラムを実施しています。共通テーマは、「はじめてをおうえんすること」。
 子ども達がわくわくするものと出会うとき、一歩踏み出す勇気を出したいとき…
 その背中をそっと押してくれる、「舞台の持つパワー」を活かし、
 子ども達の「はじめて」を応援します！

こども文化センターガイド



でてみる



子ども達の成果発表の場！
 「出る」楽しさを味わえる！

- こども文化フェスティバル
- こども演劇フェスティバル など

やってみる



舞台芸術にはじめてチャレンジ！
 「やってみる」楽しさを体験！

- こども教室（ミュージカル教室、プラスバンド教室、こども喜劇教室、こども詩の会）など
- スタッフボランティア、はじめま専科（大人向け）など

P9へGO!

P11へGO!

みてる



コンサート、人形劇、演劇などの
 “生”の舞台や映画を「みる」こと
 を楽しむ！

- こども劇場
- こども広場
- 春のこども文化まつり
- こども芸術劇場 など

P3へGO!

4つめの「る」はなんだろう？
 3つの「る」をみていきながら、
 さがしてみよう！

次の
 ページへ
 GO!



／ぼくが案内するよ！／

◆なにをしているところ？

子ども達が人間性豊かに育つことを願い、1979年1月に開館した大阪市立こども文化センター。設立当初からの理念を引継ぎ、舞台芸術の“鑑賞・体験・発表”をキーワードに、赤ちゃんから大人まで、幅広い年齢に向けた、さまざまなプログラムを展開しています。（ホールでの鑑賞事業、舞台での発表事業、教室・講座等の創造事業、地域の文化活動に携わっている団体やグループとの交流・協働事業など）

◆開館前に、元となる施設があった。

戦後の荒廃した社会において、次代を担う子ども達が健やかに育つことを願い、昭和26年に宣言された「児童憲章」が表した理念の実現に向けての大阪市の取組の一環として、市民の「児童文化募金」からの寄付を受けて昭和30年に設立されたのが、当センターの前身である「大阪市立児童文化会館」です。